

いなづま



函館山からの冬花火

撮影：伊東 照勝

ご挨拶

理事長 大倉 直

令和六年の新年もあけて、三か月が過ぎようとしています。今年の冬は暖冬で降雪も少なく三月に入るまで雪かきをしたのが、一回しか記憶にありません。二月十九日には函館市で十六度に達するなど道南すべての観測地点で二月の最高気温としては最も高

くなり、記録的な暖かさとなりました。三月に降った雪も解け始め春を迎えようとしており、組合員の皆様にはお変わりなく、お過ごしのこととご推察を申し上げます

一月一日、石川県能登半島地方を震源とする地震により、甚大な被害が発生しております。この度の地震において亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。また、このような厳しい状況下、復旧応援に駆けつけている組合員に対し、深く敬意を表します。

各都府県工組と全日電工連から北陸県工組に対して合計五〇〇万

円の緊急の災害見舞金を贈呈致しましたが、時間の経過とともに被害の状況が甚大であったことが確認され、さらなる追加支援を、函館を含め全国の組合員各社や個人に義援金をお願いをご案内しているところです。ご協力して頂いた皆様の暖かいお心に厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、五月に新型コロナウイルス感染症が五類に引き下げられたことで、行動制限も緩和され、経済が回復傾向にある様に思われます。

一方でまだまだ続くロシアのウクライナ侵攻やパレスチナ情勢等で世界的に不安定な状況が続いており、それにより物価高、円安など、私達電気工事業界にも資材の高騰や皆様ご承知の通り、一昨年の照明器具、ブレーカ、高圧ケーブルから始まり最近では低圧ケーブルなどの資材の納品遅れが発生し厳しい状況が現在も続いております。

そのような中ではありましたが、当組合の運営ですが、四年ぶりに、予定されておりました各事業や各行事につきまして、組合員のご協力のおかげをもちまして、順調に推移いたしております。又、各支部での行事も飲食を伴う親睦会や研修旅行も復活しておりますので、各支部員の積極的な参加をお願い致します。

昨年、青年部が創立四十周年を迎えました。世界の流れはDXやカーボンニュートラル実現へと加速しており、このことは我々電気業界も大きく変わるチャンスと捉えて、組合員が新技術の習得にしっかりと取り組む事が重要と考えます。こうした取り組みには若い力と創造力、行動力に優れた青年部に、大きな期待を寄せられており、組合活動の推進役として、又後継者としての存在感を大いに発揮してほしいと願っているところです。

今年、第四回電気工事技能競技北海道大会が電気工事技術者の資質及び技術水準の向上、電気工事業界全体のレベルアップを目的として九月七日に開催されます。組合員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、安全第一、無事故無災害、に努めて頂き、各組合員の皆様のご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げ挨拶と致します。

役員会だより

第五回役員会

五・十・三十

一、経過報告
(有)渡部電気工業代表者逝去

二、貸付報告・無し
各支部報告並びに提案事項

三、各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項

(1) 組合員の異動について

(2) 「いなづま」第一五四号の発行について

(3) 第三十五回電気工事業全国大会について

(4) 事務局職員の退職について

(5) 令和五年度上期末決算及び監査について

(6) 令和四年度住友団体共済配当金に還付について

(7) 組合新年会・永年組合員・永年勤続者表彰式について

(8) 第二回道工組改革ワーキング委員会について

五、事業委員会事項

(1) 第一種電気工事士試験(学科)受験準備講習会の開催結果について

(2) 『フルハーネス型安全帯』特別教育の実施結果について

(3) 低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールについて

(4) 港まつりへの参加結果について

(5) 第一種電気工事士試験(技能)受験準備講習会の開催について

(6) イルミネーション取付工事について

(7) 北海道電力(株)電設申込システム『電設WEB』運用拡大について

(8) 電設業務研修会の開催について

第六回役員会

五・十二・一

一、経過報告・無し
二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項
各支部それぞれ支部会議を開催

四、総務委員会事項
(1) 中間監査の実施結果について

(2) 第二回道工組改革ワーキング委員会について

五、事業委員会事項
(1) イルミネーション取付工事施工結果について

(2) 第一種電気工事士試験(技能)受験準備講習会の開催結果について

(3) 低圧検満計測器取替工事合同安全パトロールについて

(4) 電設WEB代行入力業務について

六、その他
(1) 年末年始における組合業務について

(2) 事務局職員の年末賞与の支給について

第七回役員会

六・二・二十

一、経過報告
(有)栄電舎代表者ご母堂逝去

(株)ふじでん代表者ご母堂逝去

二、貸付報告・無し
各支部報告並びに提案事項

三、各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項

(1) 組合員の異動について

(2) 令和五年度永年組合員・永年勤続者表彰式・令和六年新年会について

(3) 「いなづま」第一五五号の発行について

五、事業委員会事項
(1) 電設業務研修会の開催結果について

(2) 電設WEB代行入力業務について

(3) 北電ネットワーク(株)道南統括支店・電気工事組合連絡協議会の開催について

(4) 二級引込線工事士・限定低圧計測器工事士新規認定講習・認定試験の実施について

(5) 第四回電気工事技能競技北海道大会について

六、その他
(1) 高圧検満工事について

(2) 能登半島地震に係る義援金の拠出について

組合行事

9月20日 第一種電気工事士(学科) 受験準備講習会
 22日 (ポリテクセンター) 十名受講
 22日 道工業組合第四回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席(道電気会館)
 全日 第二回北電NW・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席(道電気会館)
 28日 検満業者打合せ会議
 10月13日 北部支部研修旅行(九州方面)
 15日 道工業組合第二回事務局長会議に伊藤事務局長出席(オンライン会議)
 17日 北海道電力関連工事安全協議会臨時道南配電部会に伊藤事務局長出席(北電NW道南統括支店)
 20日 フルハーネス型安全帯特別教育(組合会議室) 十名受講
 全日 第二回青年部例会
 24日 正副理事長・事務局局長会議
 25日 第三十五回電気工事業全国大会意見交換会に作並青年部長ほか二名出席(福島市)
 26日 第三十五回電気工事業全国大会に大倉理事長ほか十名出席(福島市)
 30日 第五回役員会
 全日 検満業者打合せ会議
 11月3日 東部支部研修旅行(関西方面)
 5日 第二回道工組改革ワーキング委員会に中野理事出席(オンライン会議)
 8日 中間監査
 10日 北電NW・組合低圧検満合同安全パトロール(北電江差NWC一名・組合二名)
 11日 青年部創立四十周年記念式典・祝賀会(ホテル法華クラブ) 出席者合計六十六名
 13日 イルミネーション取付工事(函館市西部地区・湯川地区)

14日 道工業組合中間監査(書面監査) 土谷副理事長
 18日 第一種電気工事士(技能) 受験準備講習会
 20日 (ポリテクセンター) 十二名受講
 18日 渡島支部会議・懇親会
 21日 第二回北電NW道南統括支店・工事組合地区連絡協議会(組合会議室) 北電NW五名・組合六名
 24日 道工業組合第五回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席(オンライン会議)
 27日 北電NW・組合低圧検満合同安全パトロール(北電八雲NWC一名・組合三名)
 28日 検満業者打合せ会議
 12月1日 第六回役員会
 11日 第三回北電NW・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席(道電気会館)
 12日 北部支部会議・忘年会
 13日 電設業務研修会(組合会議室) 八十九名受講
 15日 西部支部会議
 18日 北電NW・組合低圧検満合同安全パトロール(北電NW道南統括支店二名・組合三名)
 25日 検満業者打合せ会議
 1月12日 電気関係賀詞交歓会に伊東副理事長出席(札幌グランドホテル)
 17日 東部支部会議・新年会
 22日 商工懇話会総会に伊東副理事長・土谷副理事長出席(花びしホテル)
 25日 道工業組合第六回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席(道電気会館)
 26日 令和五年度永年組合員・永年勤続者表彰式並びに令和六年新年会(プレミアホテル・CABIN PRESIDENT) 函館 出席者合計一十七名
 30日 函館国際観光コンベンション協会新年会に大倉理事長出席(花びしホテル)
 29日 検満業者打合せ会議
 2月20日 第七回役員会

全日 第三回北電NW道南統括支店・工事組合地区連絡協議会(組合会議室) 北電NW五名・組合七名
 24日 福島支部総会・新年会
 27日 検満業者打合せ会議
 3月1日 渡島支部研修旅行(関西方面)
 3日 江差支部会議・懇親会
 2日 西部支部研修旅行(沖縄方面)
 7日 二級引込線工事士・限定計測器工事士認定講習、認定試験(組合会議室) 引込線工事士二十七名受講うち二十名受験、限定低圧計測器工事士一名受講並びに受験
 12日 道工業組合第三回事務局長会議に伊藤事務局長出席(オンライン会議)
 14日 道工業組合青年部道南エリア事業エレクトリック運動会(浜分体育センター) 参加者合計九十七名
 16日 道工業組合青年部道南エリア事業エレクトリック運動会(浜分体育センター) 参加者合計九十七名

組合員の異動

◎ 代表者の変更 (新) (旧)

一、(株)平松電気工務所 大谷 悟 大谷 治身
 代表取締役
 一、(有)渡部電気工業 渡部 知子 渡部 治
 代表取締役
 一、(有)春日電機 松沢 信幸 松沢 宣昭
 代表取締役
 一、(株)大原電気工業 大原 雅史 大原 勝弘
 代表取締役
 一、(有)松村電気 松村 剛直 松村 光一
 代表取締役

◎ 脱退
 一、車電工社 令和五年十二月二十日
 一、(有)三和電気工業 令和五年十二月二十日

令和五年度 永年組合員 永年勤続者 表彰式 令和六年 新年会

令和六年一月二十六日、令和二年一月に開催して以来の永年組合員・永年勤続者表彰式並びに新年会がプレミアホテルCABIN PRESIDENT 函館において、ご来賓二十六名、組合員、青年部、総勢一一七が出席し四年ぶりに開催されました。



冒頭、能登半島地震でお亡くなりになられた方や関係物故者に対して黙祷をささげた後、大倉理事長より挨拶、続いて永年組合員・永年勤続者表彰へと移り、組合加入六十年で(有)山田電気工業、五十年で(有)丸伊イトウ電気商会ほか三社、四十年で(株)デイム、三十年で小原電気工業が表彰されました。永年勤続者表彰では、勤続三十年以上で(株)繁田電工の山田誠氏ほか三名、二十五年以上で一名、二十年以上で六名、十五年以上で二名、一年以上で九名が表彰され、大倉理事長より表彰状と記念品が贈られた後、受賞者を代表し、(株)繁田電工、

山田誠氏より謝辞が述べられました。その後ご来賓の田畑浩文函館市副市長、喜多村悟北海道電力ネットワーク株式会社執行役員道南統括支店長より祝辞を頂戴し、永年組合員・永年勤続者表彰式は閉会となりました。引き続きの新年会では、土谷副理事長の発声で祝杯をあげ、来賓、組合員、青年部員が親しく懇親するなか、伊東副理事長が感謝と御礼を述べて盛会のうちに終宴となりました。



令和五年度 永年組合員・永年勤続者表彰者名簿(敬称略)

事業所名	
組合加入六十年	一社
(有)山田電気工業	
組合加入五十年	四社
(有)丸伊イトウ電気商会	(有)東和電気工事
(有)松田電設	邦代電気商会
組合加入四十年	一社
(株)デイム	
組合加入三十年	一社
小原電気工業	

(永年勤続者)

事業所名	氏名
勤続三十年以上	四名
(株)繁田電工	山田 誠
大鎌電気(株)	石井 隆
樺電工業(株)	山廣 恵美
(株)富岡電気工事	下鳥 直樹
勤続二十五年以上	一名
(株)ワタナベ電器	森 伸吾
勤続二十年以上	六名
大鎌電気(株)	木村 治
(株)ケイソー	石渡 裕
(株)山田電気工業	澤口 英喜
(株)山田電気工業	石山 拓児
(株)山田電気工業	上野 佐登美
(株)山田電気工業	西野 純一
勤続十五年以上	二名
(株)梶原電気工業	工藤 良太
(有)拓翔電設	斉藤 智和
勤続十年以上	九名
(株)梶原電気工業	藤江 真
(有)拓翔電設	小谷 義男
(株)富岡電気工事	加藤 亨
日興電気(株)	木村 州彦
(有)新光電気工業	小笠原 健二
(株)山田電気工業	西里 達郎
(株)山田電気工業	三上 了平
(株)山田電気工業	市山 祐輔
(株)山田電気工業	平野 つばさ



はこだて冬フェスティバル & 湯の川冬の灯イベント

十二月から翌二月にかけて三か月間、函館市西部地区と湯川地区を明るく照らした『はこだて冬フェスティバル』と『湯の川冬の灯り』の点灯期間が満了し、本誌が発行されている頃には設備の撤去も完了していることと思います。湯川地区を施工いただいた(株)対馬電設さんと西部地区を施工いただいた(株)並電気工事さんには誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

西部地区でのイルミネーションは当組合の周年記念の事業として組合から函館市に提案して、当初はボランティア的な要素をもって始まっています。そこから時代は流れ、組合が広く組合員へお願いして人繰りや



工程管理等
に
関
与
し
て
い
た
時
代
か
ら、
一
社
に
施
工
の
全
て
を
依
頼
す
る
と
い
う
現
在
の
形
態
へ
と
変
化
し
て
き
ま
し
た
。こ
れ
は、組
合
と
し
て
函
館
市
の
観
光
事
業
に
貢
献
す
る
た
め
と
い
う
側
面
を
も
ち
つ
つ
も、
事
業
と
し
て
収
益
を
生
む
方
法
を
模
索
し
て
い
っ
た
結
果
で
あ
り、組
合
と
し
て
の
存
在
の
あ
り
方
が
時
代
の
変
化
に
合
わ
せ
た
形
な
の
だ
と
思
い
ま
す。
資
材
の
高
騰
に
よ
っ
て
住
宅
価
格
が
大
き
く
跳
ね
上
が
り、
エ
ン
ド
ユ
ー
ザ
ー
の
住
宅
購
入
控
え
が
進
み、住
宅
着
工
数
が
落
ち
込
み
を
見
せ
て
お
り
ま
す
の
で、引
込
線
や
計
測
器
工
事
も
必
然
的
に
下
火
に
な
っ
て
い
き
ま
す。組
合
は
引
込
線
と
計
測
器
工
事
の
利
益
に
頼
る
構
造
か
ら
多
様
な
工
事
と
組
合
員
に
寄
り
添
っ
た
多
様
な
サ
ー
ビ
ス
で
利
益
を
生
む
構
造
に
変
わ
っ
て
い
か
な
け
れ
ば
な
ら
な
い
と
思
い
ま
す。
イルミネーション工事はその一つであり、組合員の皆さまにおかれましては、ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



北部支部研修旅行

今年に入り、コロナ感染症も感染症分類が五類となり、このたび五年ぶりに北部支部は十月十三日〜十月十五日の二泊三日の日程で九州は福岡・長崎へ研修旅行に行ってきました。

初日の朝の飛行機で函館から羽田空港、羽田の到着ロビーや福岡行き機内で昼食を食べて福岡空港へ。到着後観光バスへ乗り込み大宰府天満宮へと向かい、まずは、全員でお参りをし境内の散策や御守り・お土産を買い求めてしばし、くつろぎました。あいにく本堂は改修途中で鉄骨組架台を使用していました。(シートの隙間からのぞき見しました)バスに乗りホテル(博多中洲中部)へチェックイン。徒歩で水炊きの店「旬菜万葉」へ。夕食を腹いっぱい食べて若者たちは夜の中州へ。年寄り(私も)ホテルへ。こうして初日の博多の夜へ過ぎていきました。

二日目は観光バスで一路長崎へ。車内で前日の夜の研修を発表してもらい三件梯子の食ツアーや中洲一周と様々な夜でした。明るく楽しいバスガイドさんの話で盛り上がり、あつという間に長崎へ到着。平和記念公園を見学して昼は軽く鯛茶漬け。原爆資料館・グラバー園・出島など見学してホテルへチェックイン後、夕食は徒歩で「中国明菜京華園」へ。中華料理を堪能しました。長崎といえば函館と並んで三大夜景の一つでもありますので皆でタクシーに乗り夜景を見るべく稲佐山へ。山頂へ向かう道中で福山雅治さんの実家へ立ち寄り表札を確認して山頂へ到着。なかなか綺麗な夜景ですが、やはり函館夜景が一番ですよね!と思いつながら下山しました。私はその後土谷さんと五島牛のステーキを食べに行き「うめがたー」、お腹いっぱい長崎の夜でした。

三日目は研修旅行のメインイベント軍艦島クルーズです。早朝は晴れて風が少しある程度でしたが、バスに乗り乗船橋に着いたら、本日は風が強く、島まで行ってみないと上陸できるか分からないと言われ、不安に駆られながら出港しました。三井造船所を見なが



北部支部支部長 渡田 重則

ら湾の中は揺れも無く普通に進んでいました。外海に出た途端に波のうねりが激しく、酔いになる乗客も：クルーズの周遊コースに入っている軍艦島の手前の島に上陸し、トイレタイムと軍艦島の模型説明を聞き、予習バッチリでいざ出発。軍艦島の近くまで来たが波が高く上陸出来ないとのこと「残念」！。軍艦島を一周して波を浴びながら長崎港へ無事到着。バスに乗り長崎空港近くで昼食（寿司と五島うどん）を食べ、これで今回の研修旅行の全行程が終了し、羽田経由函館へ帰路につきました。

今回は軍艦島に上陸は出来ませんでしたが、久しぶりに楽しく研修旅行が出来ました。若手たちも半数以上が参加され喜んでもらえたと思います。参加された皆さま大変お疲れ様でした。ありがとうございました。また研修旅行を企画致しますので多くの参加をお待ちしております。

東部支部研修旅行

東部支部は令和五年十一月三日〜五日、二泊三日で京都・大阪・神戸へ研修旅行を総勢十名で行いました。長い間、コロナ禍により支部研修旅行が開催出来ませんでした。今回、約四年ぶりに開催することが出来、とても嬉しく思います。

一日目は飛行機で函館空港から羽田空港で乗換をして、伊丹空港へ行きました。そこから京都へ移動をして伏見稲荷大社へ行きました。一三〇〇年以上の歴史を誇る大社、朱塗りの千本鳥居がとても美しく、みんなでお祈りをして御参りをしました。夜は京料理「梅むら」にて、鴨川を眺めながら京料理や鴨川鍋（京風ちゃんこ鍋）を食べ、楽しい時間を過ごしました。このお店は格調高く、過去には伊藤博文が常宿として利用していたそうです。

二日目は、京都から大阪へ移動をして、通天閣周辺を見学した後に、新世界で串カツ「串右衛門」で美味しい昼食をとりました。

京都・大阪では人混みをかき分けて進み、やっと日本にも活気が戻ってきたと実感できました。次に、重要文化財でもある大阪城へ行きみんなで天守閣展望台まで登り、大阪一帯を一望しました。天下人は、こんな美しい景色を毎日見ているのでしょうか、ひと時の優雅な時間を味わうことが出来ました。夜の居酒屋では炉端焼きコースで、大阪グルメを堪能して盛り上がり、その後は満腹にてディープな大阪を散策してきました。この日は、野球の日本シリーズが大阪で開催されていた事もあり、道頓堀はじめ街全体がとても熱気を帯びていました。

三日目は、朝から神戸へ移動してメリケンパークやハーバーランドを散策しました。神戸遊覧船「御座船安宅丸」にて約一時間の神戸ベイクルーズを楽しみ、みんなで記念撮影。そして、神戸南京町にて広東料理「雅苑酒家」のランチと神戸ハイボール（海を連想させる水色のハイボール）に舌鼓を打ち、旅行も残すは帰路のみとなりました。伊丹空港では、参加できなかつ



東部支部支部長 中島 康弘

た支部員のお土産をよく吟味して選びました。少しでも雰囲気を楽しんで頂けたら幸いです。夕刻には、無事に函館空港へ到着して、みんな笑顔で旅を終えることが出来ました。ご参加、有難う御座いました。トラブルなく、とても効率的に関西の周遊観光ができました。特に現地では、伊東副理事長が各地の地理に詳しく、色々と本当に助かりました。有難うございました。

今回、改めて会議や懇親会だけでなく、旅行をする事で更に親睦が深まると実感できました。次回はもう少し人数を募り、楽しい研修旅行を企画したいと思えますので、是非ご参加を宜しくお願いします。また今後、他支部と一緒に合同旅行等で、親睦を深められたら素晴らしいと考えています。機会があれば、皆様宜しくお願いします。

電設業務研修会

今年度の電設業務研修会は、二月一日からインターネット電設申込システム『電設WEB』の運用が拡大されることを受け、北海道電力道南統括支社の方に講師としてお越しいただき、このシステムの内容を中心に昨年十二月十三日から十五日の三日間にわたり実施しました。

参加者の合計は一社一名と限定して八十九社で八十九名。ご案内当時の全組合員一七一名の約半数程度の受講者数でした。仕事の繁忙期に実施したこともありましたが、重要な内容であったこともあり、やや残念な参加者数ではありません。

この『電設WEB』というシステムは、今まで契約新メニューと呼ばれる北海道電力の一部の契約メニューの異動に適用されてきましたが、二月一日以降は、電設工事申し込みの主流である従量電灯や公衆街路灯、臨時電灯等、全ての北海道電力の契約メニューの異動に適用されることとなり、運用が拡大されることとなりました。

この『電設WEB』というシステムは単線結線図や引込線工事に等の内容を登録するものではありません。単線結線図等の工事内容を登録するシステムは、北海道電力ネットワークの『電設工事NET』ですので混同しないようお願い致します。

組合では有料ではありませんが、この『電設WEB』の代行入力サービスを実施しております。パソコンやインターネットに不慣れな方や多忙で入力する暇がない等、どのような理由でも構いませんので、代行入力サービスをご利用いただきたいと思います。現在は試験運用ではありますが、『電設工事NET』の運用拡大も予想されますので、この二つのシステムを代行で入力することを組合員に対する新たなサービスとして展開していきたいと考えております。

研修会では、『電設WEB』の内容のほか、二月一日以降、臨時の廃止・撤去の申請方法の変更等、様々な事柄が変更となることの周知や工事の事故事例や不適切な事例を紹介して終了となりました。

業務ご多忙の折、講師を勤めてくださいました北海道電力道南統括支社の皆さまには誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

お悔やみ

令和五年
九月二十一日

(有)渡部電気工業 代表者
渡部 治殿 ご逝去

十二月三日

(有)栄電舎 代表者 ご母堂
細見 ナヲ殿 ご逝去

令和六年
一月一日

(株)ふじでん 代表者 ご母堂
佐藤ヒデ子殿 ご逝去

編集後記

令和六年元旦、午後四時一〇分、石川県能登半島地方に最大震度七を観測する大地震が発生。二月下旬現在、死者は二四〇人を超え、住宅被害六万七千棟以上の大きな被害を出した能登半島地震、防潮堤や海沿いの岩礁がおよそ四メートル隆起したり、半島北側の沿岸沿いの国道を中心に大きな被害が集中し、いまだ復旧が見通せない状況です。被災された方々へ、心からお見舞い申し上げます。今もなお少なくとも二万三千人が避難所や親せきの家に身を寄せていたり、車中泊を続けていたりして長期に及ぶ厳しい避難生活を余儀なくされています。災害ボランティアの活動や仮設住宅も建設も始まりました。早期の復興を願っております。

また一月二日、夕方六時前に発生した海上保安庁の航空機と日航機の衝突事故、この事故で海保機に乗っていた六人のうち、五人が死亡、日本航空の乗員・乗客のうち十四人がけがをしました。海保機の機長は事故後「滑走路に入る許可を得ていた」と証言しており、指示を誤認し滑走路内に入り、離陸許可を待ったと思われる。海保機は災害派遣任務を帯び、かつ出発が遅れていたとされ、「ハリーアップ症候群」に陥った可能性があるとのこと。この症状は急ぐあまり正常な判断ができず、自らに都合の良いように解釈し

て行動することで、この時管制官が使った「ナンバワン（一番目）」という用語は海保機より先に離陸を待っていた他の民間機があり、海保機を離陸順位一番目に繰り上げる意味で使われ、海保機は「ナンバワン、サンキュー（二番目、ありがとう）」と応じており、ごく自然なやりとりをしていたと副機長や管制官も確認していました。ミスをおかさない人はいません。誰か一人がミスしても周りで、もしくはシステムでカバーする仕組みになっているようですが、今回はそのミスに気づけず副機長、管制官が指摘できず事故がおきた可能性ががあります。更なる確認や衝突事故回避のシステムのアップグレードが必要です。電気工事業でも事故が起きますが、仕事を急ぐあまり正常な判断ができず、自己都合の良いように解釈して行動することがあります。KYをしたり・確認事項を複数人（ダブルチェック）で行うことで感電・事故・ミス等を無くしていきたいですね。また、四月からは、働き方改革関連法の適用によって建設業において時間外労働が上限規制されます。これにより従業員の長時間労働が制限され、労働環境の改善が求められています。単月で百時間未満、複数月平均八十時間以内、年七二〇時間以内に収める必要があります。

対策としては、週休二日制を後押しする、適正な工期設定を推進する、技能や経験にふさわしい処遇（給与）を実現する、仕事を効率化する、限られた人材・資機材の効率的な活用を促進、人材不足を解消するなど、生産性向上の取り組みが必須となります。長時間労働や休日出勤がまだまだ多い建設業において働き方改革を実現するためには各企業の、適切な勤怠管理が行える環境を整えていたり、人材不足を解消できればいいですが、まだまだ課題がいっぱいあります。新しい時代に即した労働環境の構築に取り組んでいくしかないですね。

題字 小寺寛一（第二代理事長）

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集 いなづま編集委員会

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 龍文堂印刷株式会社

(T・I)

あしたの光で “ごこちよい” を創ります。

東芝ライテック株式会社 北海道営業部函館営業所

☎ 040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル3階
TEL 五 一 一 六 〇 〇 二
FAX 五 一 一 六 〇 〇 二



パナソニック株式会社 エレクトリックフークス社

北海道電材営業部
函館電材出張所

☎ 041-0808 函館市桔梗二丁目三四一六
TEL (011) 477-6333
FAX (011) 747-3806



河村電器産業株式会社 北海道支店函館駐在所

☎ 040-0011 函館市本町六一五 協和函館ビル3階
TEL (011) 648-7163
FAX (011) 331-7437
北海道支店 ☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌六条二丁目一三〇
札幌三信物流ビル4階
TEL (011) 652-9190
FAX (011) 822-1050



石垣電材株式会社 ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

本社 ☎ 060-0006 札幌市中央区北六条西一三丁目一 番地
☎ (011) 210-5221 番
函館支店 ☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三 一五
☎ (011) 491-6211 番
八雲営業所 ☎ 049-3104 北海道八雲町内浦町二三四一 五
☎ (011) 631-3269 番

未来環境を語る・造る

エミヤエアロパートナーズ株式会社 函館営業所

☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九一四九
電話 四八-五七五二(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽



情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社 函館営業所

☎ 040-0072 函館市亀田町一三番八号
電話 四〇-〇八〇〇
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸



株式会社 新 光 照 明

☎ 040-0024 函館市高盛町七番一 号
TEL (011) 551-0633
FAX (011) 551-0810